

特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構

2021（令和3）年度〔第2期〕

# 事業報告書

2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日



特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構

## 2021（令和3）年度【第2期】事業報告書

[期間] 2021（令和3）年4月1日から2022（令和4）年3月31日

### 1. 事業概要・成果

---

本格的に事業を開始した実質初年度である2021年度は、ミッションの通り、まずは丹波市を中心とした市民活動支援・地域支援に取り組んできました。

特に、最も大きな事業である丹波市市民活動支援センターの運営を通して、丹波市内の市民活動・自治協議会・自治会等の支援に様々な手法や機会を活用しながら取り組んできました。また丹波市内では生涯学習の推進と地域づくりの人材育成を目的に「TAMBA 地域づくり大学」を受託し実施、その他にも市と市民の対話の場や計画策定に向けた住民ワークショップの企画や運営、調査研究事業として丹波市内の「小規模集落調査」を県と市と協働し実施しました。自主事業として、丹波「社会的つながり」プロジェクトを発足させ、丹波市域のコロナ禍における社会的つながりを生み出す活動の可視化やネットワーク化に取り組み、調査報告書も発行しました。

実質初年度から、丹波市内において、ミッションの実現に向けた多岐に渡る事業に取り組むことができたこと自体が大きな成果でもあり、そのことで市内外での存在感が高まったことで、市民活動支援・地域支援に関する様々な相談や依頼が増え、他事業へと展開することができました（後述：丹波市外での事業）。

今年度の各事業で見えた成果・課題は来年度以降の事業展開につながる重要なものも多く、実際、小規模集落の支援、分野を超えた地域支援体制の構築の支援、自治協議会等の再構築に向けた重点支援、生涯学習事業やローカルコミュニティシンクタンクとしての調査事業等につながっています。そして、これらの実績もあって、来年度から4年間の丹波市市民プラザ（丹波市市民活動支援センター含む）の指定管理者として審査・評価のうえで指定され、丹波市との協定を締結することができました。

丹波市外においても、丹波～但馬地域を中心に、北播磨・西播磨・中播磨地域、さらには京都府北部の一部地域で、中山間地の地域づくり支援や講座研修事業を行政や地域自治組織からの依頼を受け、講師派遣、講座事業の実施、また調査研究への参画など、年度当初には想定していなかった広がりのある支援に取り組んできました。当法人は丹波市を中心とした市民活動支援・地域づくり支援を柱としていますが、社会的な要請や丹波市外での事業を丹波市及び各地に相互の還元する意義を踏まえ、今後も丹波市内外での事業展開を進めていく必要があると考えています。

講座や研修、会議支援や調査研究などの支援を通して、住民や地域が主体的に気づきを持って、地域づくりに取り組んでいく変化も少しずつ生まれています。また地域づくりの支援者間のつながりやネットワーク、問題意識の共有も少しずつ進んでいます。しかしながら、市民活動支援・地域支援による持続可能な地域づくりに向けたアウトカム（成果）はすぐに現れるものではありません。地域に寄り添い、行政

と協働し、引き続き支援に取り組むとともに、積極的な調査研究を通して、今後の支援のあり方やノウハウ取得にもつなげていきます。

併せて、法人として、これらの社会的要請に応えられる力を蓄え、高めつつ、他者・組織と協働して事業が進められるよう、スタッフのライフスタイルも大切にしながら、ICTの活用等、効果的な運営と組織力の向上、スタッフの人材育成にも引き続き取り組んでいきます。

## 2. 事業全体像 (NPO 法上の事業区分)

\*当法人は特定非営利活動に係る事業のみを行う

定款の事業名	具体事業名	実施時期・回数	実施場所	受益対象者及び予定人数のべ	事業費総額(千円)
(1) 地域づくり・市民活動支援事業	①地域支援アドバイザー派遣事業	約 45 回	丹波市内 朝来市内 佐用町内 姫路市内 京丹後市内	会議・WS ・打ち合わせ 参加者 約 640 人	1,179
	②広域連携交流事業	1 回	丹波市内	研修・交流会参加者約 70 人	
	③丹波市内の自治協議会支援事業	(3) ①の事業の中で実施			
(2) 人材育成・生涯学習支援事業	①講師派遣事業	19 回	主に 丹波市内 ほか県内	講座・研修 参加者 約 400 人	1,111
	②講座・研修事業	12 講座・研修	丹波市内 多可町内	講座・研修 参加者 約 180 人	
(3) 支援拠点管理・運営事業	①丹波市市民活動支援センター管理・運営事業	通年	丹波市内	丹波市民・団体 約 1.2 万人	17,172
(4) 地域づくりに関する調査・研究事業	①TAMBA Social Relations Project	6 月～3 月 イベント等 3 回ほか 調査事業	主に 丹波市内	丹波市域 約 100 人 広く県内全国へ 情報発信	1,606
	②集落調査事業	11 月～2 月	丹波市内	丹波市内 19 自治会等	
(5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業：実施せず					

丹波市内での活動写真から



丹波市外、朝来市、多可町、佐用町などでの活動写真から



### 3. 事業内容

日々の具体的な事業実施の情報はウェブサイトで公開していますので、参照ください。

<https://tam-en.org>

#### (1) 地域づくり・市民活動支援事業

##### ①地域支援アドバイザー派遣事業

###### ●兵庫県地域再生アドバイザー派遣

- 丹波市過疎地域持続的発展計画策定に向けた「青垣地域のこれからの考えるワークショップ」の企画・運営支援

<https://www.tamba-plaza.jp/kasokeikaku/>

2021年4月に丹波市青垣地域が過疎地に指定されたことを受け、策定することとなった表記計画について、市が主催する、青垣地域の住民、地域団体等がこれからの考え、話し合うワークショップについて、テーマ設定、全3回のうち2回についてファシリテーターの調整等のコーディネートを行ない、各回に参加した。またうち1回については、ワークショップの企画・運営・ファシリテーションを行なった。(以後、計画のパブリックコメントの周知や募集等については丹波市市民活動支援センターで取り組んだ)

- ・5月～丹波市総合政策課・市民活動課と打ち合わせ・テーマ設定、ファシリテーター紹介以後、随時打ち合わせ、広報等協力
- ・第1回ワークショップ【子育て支援／地域で子どもが育つ環境／地域・学校の連携と協働／社会教育】の運営サポート(6/21)
- ・第2回ワークショップ【自治協議会／自治会／地域福祉／支え合い／地域防災】の運営サポート(6/23)
- ・第3回ワークショップ【移住／定住／地域間交流／人材育成】の運営・ファシリテーター派遣(6/25)

###### ●地域自治組織の計画策定等の支援

- 朝来市和田山地区：第2次まちづくり計画策定のための検討委員会等の支援(地域から委託)

朝来市市民協働課と連携し、昨年度から関わっている和田山地区の第2次まちづくり計画策定のための検討委員会への支援や議論や意見整理と計画にとりまとめるため、事務局への助言や打ち合わせを行なった。また、委員以外の協議会の部会員や住民が参加する話し合いの場(ワークショップ)の企画・運営支援を行なった。



2月末に計画が取りまとめられ、2022年4月から新たな計画に基づいた部会活動や自治協議会の事業が展開されている。

- ・2021年度第1回(7/29)～第6回(1/25)までの計6回の計画検討委員会での話し合いや協議の支援(ファシリテーター等)と委員会に向けた事務局や市との打ち合わせ(随時)
- ・部会合同での拡大検討委員会(11/21)の企画・運営支援と意見等の整理のための事務局支援、打ち合わせ(随時)

➤ 朝来市糸井地区：第2次まちづくり計画策定のための検討や会議の支援(地域からの委託)

朝来市市民協働課と連携し、昨年度から関わっている糸井地区の第2次まちづくり計画策定のための検討委員会への支援や議論や意見整理と計画にとりまとめるため、事務局への助言や打ち合わせを行なった。また、広く住民が参加する話し合いの場(ワークショップ)の企画・運営支援を行なった。



3月までに計画が取りまとめられ、印刷配布された。2022年4月から新たな計画に基づいた自治協議会の活動が始まるが、体制構築、部会体制など来年度も引き続き伴走支援の希望もあり、今後も活動支援に携わる予定。

- ・通算第6回(7/6)～第15回(3/15)までの計10回の検討委員会と数回の計画編集委員会での話し合いや協議の支援(ファシリテーター等)と委員会に向けた事務局や市との打ち合わせ(随時)
- ・アンケート報告会&これからの糸井について話し合う会(11/3)の企画・運営支援と意見等の整理のための事務局支援、打ち合わせ(随時)

●地域自治組織からの相談対応・アドバイザー派遣

➤ 朝来市生野地区：いくの地域自治協議会による事業法人化勉強会・相談対応

いくの地域自治協議会が別法人による事業化を検討している内容の法人化や法人化後の運営等についての相談や勉強会講師を務めた。現在、事業の具体化、法人化に向けて進捗しており、随時相談等に対応している。

- ・役員等向けの出張相談対応(6/9)
- ・関係者向け勉強会講師(7/7)
- ・以後もメール等で随時相談対応・助言(主に法人化や労務・税務等)

➤ 京丹后市久美浜一区：まちづくり計画改定にむけた全住民アンケート企画・分析支援

<https://www.kumihamaikku.com/>

京丹后市を通じて相談があった、久美浜一区自治会のまちづくり計画(一区プラン)改定に

むけた全住民アンケートの企画について助言を行なった後、アンケートの集計フォームの作成、回答票入力後の集計・分析を行い、報告書を取りまとめ、計画改定に反映する課題等を整理する打ち合わせを行なった。

- ・会長・事務局長との打ち合わせ・助言（8/9）
- ・アンケート入力レクチャー（オンライン 9/25）
- ・アンケート集計・分析作業（10月～11月）
- ・アンケート分析結果と計画改定に向けた課題等の確認、打ち合わせ（11/24）

### ●姫路市地域活動充実支援事業によるアドバイザー派遣

- 姫路市手柄地区：手柄ミーティングの企画・運営への助言、地域活動の見直し支援

<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000005877.html>

姫路市からの依頼により、市が地域活動充実支援事業により支援している3地区へのアドバイザー派遣のコーディネートや市との情報共有のミーティングを行い、他2地区については、県内の他の中間支援組織・アドバイザーをつないだ。当法人ではその1つ手柄地区について、支援事業を活用した「手柄ミーティング」を地区内の各種団体や自治会等が地域について対話、つながる場とするため、アドバイザーを派遣、支援を行なったが、支援の必要性が薄れたため、年度途中でアドバイザー派遣終了となった。

- ・市・アドバイザー3名とのミーティング（4/15）
- ・手柄地区会長・市との打ち合わせ・助言（5/19）
- ・手柄ミーティングへの参加（6/27）
- ・市・アドバイザー3名とのミーティング（9/29）

### ●佐用町地域づくりアドバイザー派遣

- 佐用町三河地区「みんな活」の取り組みへのアドバイザー派遣

佐用町地域づくりアドバイザーの委嘱（戸田）を受け、担当地区として三河地区を受け持ち、地域づくり協議会の見直しに向けた「みんな活」への伴走支援（見直しに向けた会議の設計、会議のファシリテーション等）を行なった。

- ・町との打ち合わせ協議（6月から随時）
- ・三河地区会長・センター長・町との打ち合わせ（8/6）
- ・三河地区「みんな活」第1回会議への支援（8/20から延期し12/3）
- ・三河地区「みんな活」第2回会議への支援（2/18）
- ・三河地区自治会長会議でのアドバイス等（3/9）

- 佐用町地域づくりアドバイザー会議への参画

「みんな活」事業の進め方についての助言や検討を行う、アドバイザー会議に参画し、三河地区の進捗を共有するとともに、町施策や他地区の進め方について他アドバイザー・町担当者と

検討を行った。合わせて、年に1回の取り組みとりまとめのフォーラムに参加、質問取りまとめ等のフォローを行った。

- ・2021年度第2回アドバイザー会議及び、三河地区まちあるき（9/28）
- ・2021年度第3回アドバイザー会議（12/17）
- ・さようみん活フォーラム2022（2/11）

### ●その他：自治体からの依頼によるアドバイザー・委員派遣

- 丹波市「ギカイの仕組みと定数・報酬を考える車座ミーティング」の企画・進行支援

<https://www.tamba-plaza.jp/gikaikurumazamtg/>

丹波市議会「議員定数・報酬等調査特別委員会」主催の車座ミーティングのうち、まちづくり団体等を対象とした回の参加者募集・運営・ファシリテーションを担当し、まちづくり活動からみた議員の役割、市民との対話の機会の重要性等を確認する機会となった。（1月27日19時～20時30分、参加者11人/定員12人）。

- 丹波市行政の各種委員会への委員派遣・審議への参加

- ・丹波市男女共同参画推進審議会へ丹波市男女共同参画推進計画の改定にむけた審議を主とした審議会委員に委嘱（足立美樹）を受け、計画策定の審議や検討に参画した（次年度も継続）。
- ・その他、管理運営を担う丹波市市民活動支援センターから、丹波市ボランティア・市民活動センター運営委員会へ委員として参加、他にも地域福祉、生涯学習、社会教育等の委員会にスタッフそれぞれ個人の立場で参加した。

- 西脇市まちづくり課からの相談対応

地域自治組織への支援、中間支援事業についての相談対応を行った（数回）。

## ②広域連携交流事業

### ●三市（福知山・丹波・朝来）連携交流事業

- 令和3年度「三市連携まちづくり互近助サミット」の企画・運営支援（3市からの委託）

福知山市・丹波市・朝来市の地域自治組織の交流・学び合いの場として、昨年度に続き、三市からの委託事業として企画・運営を支援し、参加地域の名鑑作成・配布、今年度は新たに西脇市の3つの協議会の事例発表のコーディネートも行なった。

- ・三市の担当者との協議・事例等調査・情報収集（10/19）
- ・西脇市の3つの協議会についてのヒアリング、比延地区にて（11/8）
- ・サミット当日（12/11）の企画・全体進行・ファシリテーター派遣
- ・参加地域の「地域名鑑」作成

## (2) 人材育成・生涯学習支援事業

### ①講師派遣事業

#### ●丹波市主催事業等への講師派遣

- 丹波市「オンラインを活用した市政広聴会」へのファシリテーター派遣

<https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/kikaku/shiseikondan.html>

丹波市が毎年開催している市政公聴会をオンラインかつ対象者を設定して実施することになり、市長・部長と市民との意見交換のファシリテーション、オンラインの運営フォローを行なった。話し合われた内容の中には、市民が主体的に取り組むことで、実現につながったものも。  
(病後時保育、モンブランでのギネスチャレンジ等)

- ・ 7月24日(土)「学生対象」の回の運営 参加：9人
- ・ 8月1日(日)「女性対象」の回の運営 参加：7人
- ・ 8月8日(日)「一般・団体対象」の回の運営 参加：9人

#### ●学校への講師派遣

- 丹波市立東小学校への講師派遣

昨年度に続き、東小学校「6年生国語授業」にて、コミュニティデザインをテーマにした特別授業で講師を務め、児童が調べ、検討した提案発表の講評を行った。

- ・ 2時限分の2クラス合同国語の授業で、バックキャスト、調べる・話し合う・伝えることについて、授業(11/4)
- ・ 授業を受けて、住んでいる地域の将来像とそのためアイデアの発表、講評(11/25)

- 多可高校生とのワークショップへのファシリテーター派遣

<https://www.town.taka.lg.jp/newlife/shougai-c>  
<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/taka-hs/?p=6635>

多可町の仮称生涯学習センター建設基本計画(後に「多可町生涯学習まちづくりプラザ」に名称変更)を策定するにあたり、高校生の意見を反映する町と高校主催のワークショップを企画、運営を支援、ファシリテーション/グラフィックレコーディングを行なった。

- ・ 多可町担当課・関係者との事前打ち合わせ(7/12)
- ・ 多可高校でのワークショップの開催、運営支援(7/30) 参加生徒：9名

#### ●地域自治組織対象の研修への講師派遣

- 朝来市地域自治協議会対象「地域づくり研修会」への講師派遣

朝来市市民協働課からの依頼を受け、朝来市内の11地域自治協議会の事務局を対象とした、コロナ禍における地域活動をテーマに研修講師を担当した。コロナ禍におけるICT活用の考え方、取り組み事例・手法、つながりを失わない、つくるための丹波市内での取り組み事例

等をお話した。

- ・朝来市担当課との事前打ち合わせ（3/24）
- ・地域づくり研修会での講師（3/29） 参加地域：11 及び朝来市担当者

### ●地域支援者対象の研修への講師派遣

- ムララボ vol2（地域自治組織を支援する人のための講座）実行委員会への参画・講師派遣

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/muralabo-02/](https://peraichi.com/landing_pages/view/muralabo-02/)

昨年度に続き、県内の地域支援者有志とともに実行委員会をつくり、地域自治組織を支援する人のための講座6回の企画に参画し、以下の講座の運営、講師を担当した。講座には全国から各回15～20人程度が参加し、支援者として必要な考え方、事例、ノウハウを相互に学び合う機会となった。また、講座のウェブサイトドメイン取得・メールサーバー契約、管理を法人で担当した。

- ・第1回【地域自治組織を支える「制度」と地域づくり人材】の企画・運営（11/6）
- ・第2回【地域自治組織を支援する人材をどう育成し、ともに育ち合うか】の講師（12/18）
- ・第3回～5回の運営補助（1/23、2/13、3/12）

- 兵庫県地域再生アドバイザー養成講座への講師派遣

<https://www.yume-hyogo.com/natureinfo/natureinfo13791/>

兵庫県地域再生大作戦の1事業である中山間地の地域づくりを支援する「地域再生アドバイザー」を養成するための連続講座の1コマを担当した。

- ・現役アドバイザーから見た「アドバイザーの心得・あり方・課題等」及び、地域支援におけるデータ活用の実際」をテーマにした講座を担当。受講生約10人（7/31）

### ●その他講座や視察・研修等への講師派遣

- 大阪商業大学公共学部の講義への講師派遣

公共学部「地域経営論」のオンライン講義の1コマを担当し、丹波市での地域づくりとこれからの住民自治について講義を行なった（12/8 オンライン収録）。

- 認定NPO法人Habitat for Humanity及び（一社）Beによる、Japan Villager2021（大学生向け研修プログラム）への講師派遣

丹波市内で行う研修プログラムの1コマを担当。丹波市の地域づくりとこれからの住民自治、その支援等をテーマに講師を務めた（計4回）。

また、全国の大学ごとにあるハビタットの学生団体向けオンラインセミナーに講師を派遣し、丹波市内の2団体とともに、住民主体の地域づくり、丹波市の地域づくりとこれからの住

民自治について講師を務めた（1回）。

- ・秋実施プログラム3回：全国の大学対象 での講師（10/30、11/6、11/20）
- ・冬実施プログラム1回：関西学院大学・インカレ対象 での講師（3/15）
- ・全国オンラインセミナーでの講師（3/24）

## ②講座・研修事業

### ●丹波市での講座事業

- TAMBA 地域づくり大学 2021 の企画・運営・講師（丹波市からの委託）

<https://tamba-daigaku.net/>

丹波市の生涯学習推進の理念である、知識循環型生涯学習を目指した、地域づくり大学の企画・運営プロポーザルに参加し、受託。12月～1月末にかけて、オープニングイベント、クロージング受講生交流会及び7講座（1.5時間換算で10講座分）を開催した。のべ受講者数（講師等除く）は92人。

オープニングイベントでは、「わたしとまちの関わりを知る・交流する」ことを目的とした年表づくりWSを実施。講座では、「地域との関わり方・活動のはじめ方」を学ぶ講座として、UIターン者向けと、高校生大学生向けの2テーマで開催。また、すでに活動している団体・市民を対象に、「調べる力を高める」講座として、講座間の実践も含めた2講座、「参加を広げる力」として、座学とWSを組み合わせた3講座を実施した。クロージング交流会では受講生が1対1で互いに語り合うことで学びを振り返った。

- ・オープニングイベント（12/12）
- ・「地域との関わり方・活動のはじめ方講座」UIターン者向け（12/18）
- ・「地域との関わり方・活動のはじめ方講座」高校生・大学生向け（12/26）
- ・「調べる力を高める講座」第1回（1/8）、第2回（1/22）
- ・「参加を広げる力を高める講座」第1・2回（1/16）、第3回（1/23）
- ・クロージング受講生交流会（1/29）＊コロナ感染拡大を受けて、前倒しで実施

### ●多可町での講座事業

- 令和3年度まちづくり連続講座の企画・運営・講師（多可町からの委託）

[https://www.town.taka.lg.jp/category\\_guide/detail/id=30272](https://www.town.taka.lg.jp/category_guide/detail/id=30272)

多可町の生涯学習事業の1つとして、まちづくり連続講座を受託、3回連続講座を企画・運営、講師を務めた。多可町の住民自治組織の課題や担当課の考え方を踏まえて「地域の会議をよりよくする」ことをテーマに企画、受講生募集チラシ等の広報デザインも行なった。

受講希望は定員を超える申し込み（受講生：20人）もあり、また講座内容も実践的で、地元や活動で活用できるノウハウを学べたとの評価をいただいた。また、受講後の活動への活用

についても担当課に報告等があり、成果や反応も踏まえて、次年度の企画についても検討を行うことになった。

- ・ 6月～企画、広報媒体作成
  - ・ 第1回：座学) 地域づくりのための「会議」が大切な理由とは？、WS) 日頃の会議ってどんな会議？良い会議・悪い会議とは？ (10/16)
  - ・ 第2回：WS) いろいろな会議を体験しよう、座学) より良い会議にむけた、話し合いの工夫や改善方法、WS) 会議の企画と準備 (10/30)
  - ・ 第3回：WS) 学んだことを生かして、実際に会議を運営してみよう、座学) 学びのまとめ・今後に向けて (11/20)
- ＊コロナ感染拡大の影響により、8月から開催を延期した。

### (3) 支援拠点管理・運営事業

#### ①丹波市市民活動支援センター管理・運営事業 (丹波市からの委託)

<https://www.tamba-plaza.jp/>

詳細は「[2021年度丹波市市民活動支援センター年間業務報告書](#)

([https://drive.google.com/file/d/1KWFJ7znmh3diqdFyLBh9QwyXoEc4oR8u\\_/view](https://drive.google.com/file/d/1KWFJ7znmh3diqdFyLBh9QwyXoEc4oR8u_/view))」に記載。

報告書をご覧ください。

市民活動支援センター運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付管理業務：フロア利用 11,278 人 (36 人/日)、チラシ受付 253 件 (0.8 件)</li> <li>●フロア管理業務：サイネージ、市民プラザ内サイン作成、感染症対策、登録団体特別展示 9 団体、チラシ配架、ポスター掲示</li> </ul>
市民活動団体・イベント等情報の収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報誌『tamtam』：第 10 号～第 15 号発行</li> <li>●講師紹介・派遣：4 件 (過疎計画ワークショップ、habitat for humanity 丹波研修、丹波市立東小学校、TAMBA シニアカレッジ)</li> <li>●市内外先進事例視察</li> <li>●補助金情報の収集</li> <li>●市民プラザからの情報発信：               <ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイト更新 (団体ページ作成 1 件、更新 51 件)、SNS (フォロワー数 452)、新聞アーカイブ 421 件、ステークホルダー (登録件数 563 件)、ダイレクトメール、アウトリーチでの情報収集・提供</li> </ul> </li> <li>●ラジオによる情報発信：第 13 回～第 36 回、公開生放送の発信</li> </ul>
各種相談への対応及び専門的な支援会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談対応：1,485 件 (5 件/日)</li> <li>●地域支援：               <ul style="list-style-type: none"> <li>佐治地域自治協議会 (支えあい推進会議)、芦田自治振興会 (地域づくり委員会)、神楽自治振興会 (大稗・小稗自治会見直し支援)、遠阪自治協議会 (ホームページ作成支援)、梶原自治会住民アンケート支援、地域力アップ事業次期重点支援 (吉見地区振興会、久下地区自治振興会)、地域支援者連絡会議 4 回、地域コミュニティ活動推進員定期会議 3 回、</li> </ul> </li> </ul>

<p>交流事業の開催、マッチング及びコーディネート</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談対応： 個人（発達障害支援事業立ち上げ）、常楽自治会、丹波市立東小学校、丹波市河川整備課</li> <li>●サロン事業：学びのサロン3回、若者サロン（準備）</li> <li>●各種機関や関連部署等との交流連携・マッチング・コーディネート 地域支援者連絡会議の開催、丹波市社協支えあい推進員との連携による地域支援・コーディネート「高校生が創る丹波の未来への架け橋プロジェクト」によるチャレンジ、専門家ネットワークづくりに向けた取り組み</li> <li>●センター運営への市民参加・利用者とのコラボレーション 利用者コラボメッセージカード、来館者2万人記念、ごちゃまぜプレイスメイキング（エントランス装飾づくり、座ぶとんづくり）、チャレンジメッセージカード、丹波市少年少女合唱団クリスマス公演</li> <li>●丹波市からの相談・連携 市政広聴会2回、議会の仕組みと定数・報酬を考える車座ミーティング</li> <li>●調査・研究 研修参加、新聞アーカイブ、丹波「社会的つながり」PJプロジェクトの連携実施、丹波市における小規模集落調査への協力、関係する審議会等への参加・情報収集（社会教育委員、シニアカレッジ、ボランティア市民活動センター運営委員会、男女共同参画審議会、地域福祉計画推進協議会、元気ひょうご！早寝早起き朝ごはんフォーラム、丹波支えあい推進会議（第1層））</li> </ul>
<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域づくり講座：4回</li> <li>●TAMBA 地域づくり大学との連携</li> <li>●市民活動支援センタースタッフ育成の研修</li> <li>●市職員研修への協力</li> </ul>
<p>団体運営支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談対応</li> <li>●自治協議会等地域団体運営支援</li> <li>●市民活動団体支援</li> </ul>
<p>政策提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パブコメミーティング： 丹波市過疎地域持続的発展計画、第4次丹波市交通安全計画、第3次丹波市人権施策基本方針、第2次丹波市環境基本計画改定版、（兵庫県丹波県民局）丹波新地域ビジョン</li> <li>●パブコメガイドラインの作成：市職員研修、パブコメガイドライン検討会議3回</li> </ul>
<p>丹波市市民プラザ大交流会2021</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●来場者：約300人（出入り延べ700-800人）</li> <li>●連携団体：のべ31団体</li> </ul>

#### (4) 地域づくりに関する調査・研究事業

##### ①TAMBA Social Relations Project (助成金活用)

<http://tamba-tsunagari.net/>

丹波「社会的つながり」プロジェクトとして、ひょうごボランティア基金の助成金と寄付金をもとに、キックオフイベント、交流会、事例調査、調査報告・シンポジウムを開催し、[2021 年度報告書](#)を作成・公開した。詳細は報告書をご覧ください。

<http://tamba-tsunagari.net/index.php/2022/03/19/2021report/>

##### ②集落調査事業

- 兵庫県地域再生大作戦未実施集落調査業務（兵庫県補助・丹波市からの委託）

兵庫県地域再生大作戦の一環として、小規模集落（50 世帯以下、高齢化率 40%以上）の今後の集落機能の低下にどのように対応していくのかを県及び丹波市として検討するための調査を県と市と協働で実施した。

調査結果をもとに、有識者や地域代表者、地域再生アドバイザー等による検討委員会において、小規模集落での暮らしに必要なこと・解決すべき課題について、集落（自治会等）や自治協議会等の役割・機能・体制などの見直しや負担軽減などに取り組むことで、住民自治によって対応していくことができるよう、どのような支援を行っていくべきかを検討し、丹波市「地域再生大作戦未実施集落元気度調査業務調査結果報告書及び方針」（詳細はこちらに記載）として取りまとめた。

また、別業務として、朝来市の同調査をもとにした対策懇話会に委員として参加し、助言・方針等検討を支援した。

この調査結果及び方針をもとに、来年度以降の丹波市における自治協議会の見直しにかかる重点支援や地域支援に取り組むとともに、兵庫県全体の今後の地域再生大作戦の制度・施策検討にも携わることとなった。

###### 【調査概要】

・兵庫県が示す丹波市内の対象小規模集落 49 自治会のうち、15 自治会を対象として選定。加えて、今後の丹波市での支援に生かすため、県指定の集落以外から 4 自治会を選定、合計 19 自治会を対象に調査を実施。

①住民アンケート（世帯ごと）：対象自治会の自治会加入 1 世帯につき 1 通のアンケートを自治会長を通じて、配布。

②自治会長ヒアリング：対象自治会の自治会長を対象に、ご自宅、集会施設または支所等に、調査者が訪問の上、1 時間程度のヒアリングを実施。

③自治会ごとのカルテの作成：対象自治会の人口等統計データ、農地等の地理的情報などについて丹波市保有情報から整理。上記①②のアンケート及びヒアリング実施結果を集計し、自治会ごとの現況を客観的に整理したカルテを作成（県指定仕様）し、県の示す手法による元気度等を判定した。

## 4. 事業実施体制（法人運営・管理業務）

### （1）機関会議

#### ①通常総会

- ・ 2022年5月29日（土）10時30分～12時00分、丹波市市民プラザ会議室及びzoomにて通常総会を開催した。
- ・ 出席正会員19名（うち1名は委任表決、7名は書面表決者）により成立し、「2020（令和2）年度事業報告及び決算（案）」及び「役員報酬規程（案）及び役員報酬支払い額」を承認した。
- ・ 総会后、会員交流会を開催した（後述）



#### ②理事会

- ・ 計画通り、年4回開催した。概要は次の通り。

回	日時・場所	出欠	議決事項
第1回	2021年5月17日（月） 10時～12時 @法人所在地及びzoom	出席理事7名 出席監事2名	・ 情報管理規定の制定について ・ マイク使用規程の制定について ・ 2020（令和2）年度事業報告及び決算（案）について ・ 2021（令和3）年度事業計画及び予算補正（案）について ・ 2021（令和3）年度通常総会議案について
第2回	2021年9月18日（土） 18時30分～20時30分 @丹波市市民プラザ会議室 及びzoom	出席理事6名 出席監事2名	・ 2021（令和3）年度第2次補正予算（案）について ・ その他、事業進捗や体制について協議
第3回	2021年12月18日（土） 19時～21時 @丹波市市民プラザ会議室 及びzoom	出席理事7名 出席監事2名	・ 謝金規程の制定について ・ その他、事業進捗や体制について協議
第4回	2022年3月28日（月） 19時～21時 @法人所在地及びzoom	出席理事7名 出席監事2名	・ 2022（令和4）年度事業計画（案）及び予算（案）について（関連）役員報酬支払い額について ・ その他、決算見込みや事業進捗について協議



### ③事務局会議

- ・ 運営する丹波市市民活動支援センタースタッフミーティング(運営会議)と兼ねて、毎月開催した。ミーティングには会議運営の OJT や市民活動・地域づくり、施設運営に関する研修を毎回行なった。またランチは丹波の食材やお店情報を知る機会とし、担当を決めて調達し、スタッフ全員で一緒に食べる時間とした。

回	日時・場所	研修内容（会議内容は割愛）
第1回	2021年4月2日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・限られた時間で人に伝える（1分スピーチ）トレーニング
第2回	2021年5月7日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・丹波市内の自治会名と位置関係を地図で理解
第3回	2021年6月7日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・「兵庫県地域再生大作戦からみる地域づくり支援」と「グラレコって何？」（ゲスト講師）
第4回	2021年7月9日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・会議運営（アイスブレイク・レコーディング等）OJTのみ
第5回	2021年8月2日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・地域の会議支援ケーススタディ
第6回	2021年9月13日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・岡山県内ローカルシンクタンクの研究事業について
第7回	2021年10月4日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・ラジオ番組政策のための音声編集ソフトの使い方
第8回	2021年11月1日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・NPO法人運営（労務・税務・会計・機関運営・報告等）の基礎
第9回	2021年12月6日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・会議運営（アイスブレイク・レコーディング等）OJTのみ
第10回	2022年1月17日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・森林管理・獣害対策について
第11回	2022年2月7日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・統計データの地域支援への活用、データの取り方・加工への工夫
第12回	2022年3月7日（月）10時～18時 @丹波市市民プラザ	・会議運営（アイスブレイク・レコーディング等）OJTのみ



## (2) 事務局体制

- ・ 新規雇用スタッフ：5月1日に2名の新規スタッフを迎え入れ、8人のスタッフ（週1～5日勤務）で事務局長は設けず、代表理事が統括責任者として、「支援拠点」と「地域支援」の2チーム体制を基本として、事業を推進した。
- ・ インターンシップによる研修と活動への参加を希望する大学生1名を受け入れた（9/21～1週間程度）。
- ・ トライやる・ウィークに氷上中学校2年生2名を受け入れた（主に市民活動支援センター大交流会の運営等）

## (3) 会員・支援者、ネットワークの拡大

### ①たんえん座談会 "Salon de チョクチョコク" 2nd stage の企画・実施

- ・ 昨年度に続き、たんえん役員が呼びかけながら、たんえんのPRも兼ねて、丹波のまちづくりについて自由に話し合う座談会を開催した。通年を通して開催する予定で、テーマなどリクエストがあったが、事業の拡大等で上半期に2回開催するにとどまった。

回	開催日時・場所	テーマ・話し手	参加者数
#1	2021年7月3日(日) 16時～18時 @丹波市市民プラザ	#市民活動団体と行政の“いい”関係づくり 話し手：鬼頭哲也さん（元丹波市副市長、(公財)兵庫県生きがい創造協会 生涯学習参与） 聞き手：戸田幸典（たんえん代表理事）	30人
#2	2021年9月18日(土) 14時～16時 @丹波市市民プラザ	#多様性なんて100年早い 話し手：中川ミミさん 聞き手：荒木伸雄（たんえん理事）	23人

[ # 1 写真 ]



[ # 2 写真 ]



## ②会員とのコミュニケーション

- ・ 会員継続の呼びかけやメーリングリストやメールニュース等を活用し、たんえんの活動の案内を行なった。
- ・ 通常総会開催に合わせて、総会後に交流会を開催した。

## ③メディア等掲載による PR

- ・ 法人設立から、各種事業について、地元新聞社を中心に多くのメディアで紹介いただき、たんえんや事業の PR につなげた。
- ・ 特に、丹波新聞 2022 年元旦号には表紙及び中面に丹波「社会的つながり」プロジェクトを中心に大きく掲載いただいた。その他の記事は、法人ウェブサイトにて紹介している。<https://tam-en.org/#about>



- ・ 2021 年度の主なメディア掲載数：5 件
- ・ その他、たんえんとしての紹介ではないが、企画・運営した事業等の記事も新聞に多く掲載された（ギカイの仕組みと定数・報酬を考える車座ミーティング、青垣地域のこれからを考えるワークショップ等）
- ・ スタッフの母校の先輩インタビューが教育系大手メディアに掲載された。

<https://shingakunet.com/gakko/SC000392/senpaiShigoto/9001699932/>

## (4) 組織運営体制の構築

### ①PR ツールの強化

- ・ ウェブサイトに事業や実績等の情報を積極的に掲載した。
- ・ 法人フライヤーを作成（実績や事業内容や体制紹介）した。

### ②確実な事務局運営

- ・ 税務・労務等、必要に応じて関係機関に確認しながら、法律・制度に基づいた手続き・納付等を行なった。
- ・ 多様な働き方を前提に、スタッフが役割発揮でき、効率的な業務を推進するために必要な ICT ツールを前年度に続き活用した。その際、NPO 向け支援メニュー（Microsoft、ストレージサービス、グループウェア等）も活用し、コストダウンも心がけた。
- ・ マイカー利用時のリスク対応、情報漏洩を防止するための規程等を整備し、それらに基づいているかどうか、面談や書面の提出等で確認した。

以上